



UB7とウチヤが紹介された書籍



UB7 はヘアードライヤー用サーモスタットの市場において市場占有率 50% 以上、**世界 No.1** の数量を供給しております。又、30 年以上の生産実績があります。正に技術の粋が込められた高信頼性、高品質のサーモスタットです。しかしながら、取付作業時に間違った作業方法 (× マーク部) にて取扱いをしますと**所定の性能を発揮出来なかったり、正常に動作しない事による製品事故や火災発生の恐れがあります。**以上の理由から本リーフレットの正しい作業方法 (○マーク部) に沿って**正しい取付を行って下さい。**

各部の名称

平面
Plan view

長円孔
Oval hole

④ 端子 1
Terminal 1

③爪
Stopper

①バイメタル素子
Bimetal element

②可動接点板
Movable contact arm

孔
Round hole

④ 端子 2
Terminal 2

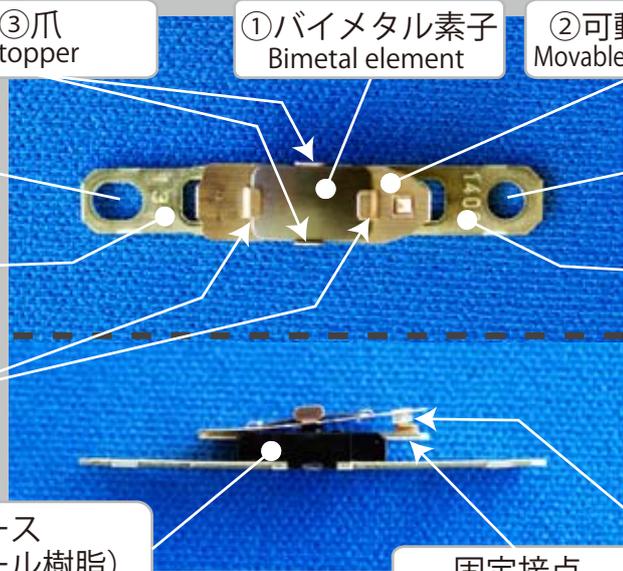
側面
Side view

(フック)
(Hook)

ベース
(フェノール樹脂)
Base - Phenol resin

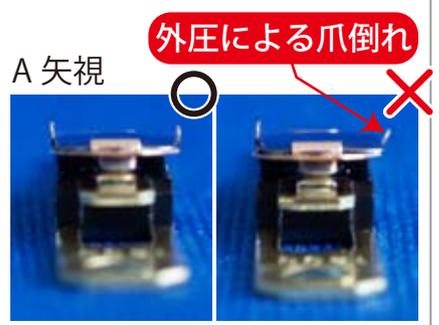
固定接点
Stationary contact

接点
Movable contact

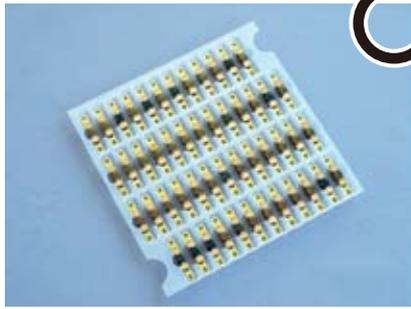


← A 矢視

- ① バイメタル素子 感熱部、又は雰囲気温度を感知して所定の温度で反転動作を行う素子。
 ※開閉動作温度は、バイメタル素子に成型加工を行うことで設定されており、外圧により温度設定に狂いが生ずる可能性があります。
- ② 可動接点板 可動接点の開閉を行う導電性の板バネ。
 ※固定接点に対して 98mN(10gf) 以上の接点圧力が加わる設計になっています。外圧を加えたり接点を無理に開くと接点圧力の減少、及びスイッチング異常 (チャタリング) を発生させる原因となります。
- ③ 爪 前後のフックとバイメタル素子の脱落を防ぐ左右の止め金。
 ※フック及び、爪に外圧が加わると、接点开閉時のスイッチング異常やバイメタル素子脱落の原因になります。(右写真参照して下さい)
- ④ 端子 1 & 2 電気を通電します。其々が接点機構を保有し、接続用の孔を装備しています。一般的にハトメ (eyelet) を使用します。
 ※いづれも通電を行う部品の為、表面の清潔は十分に保って下さい。また、接続は緩みを生じない方法で確実に行って下さい。接続部の発熱は所定温度以下での動作 (早切れ) の可能性があります。



サーモスタットはトレイから取り出してください



取付け作業等を行う際には必ず梱包トレイより丁寧に取り出して下さい。

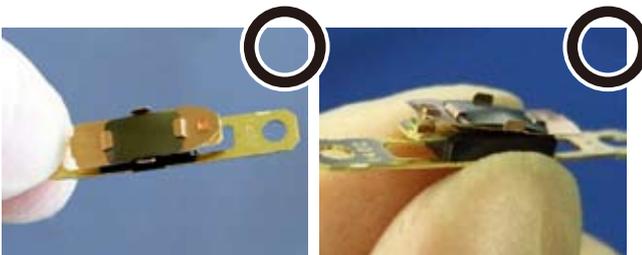


作業台等に雑然と置かれますと、接点や端子どうしが絡まってしまいます。それにより接点圧力が減少したり、接点間が開放状態になってしまい最終製品が動作しなくなってしまう恐れがあります。



床へ落下したサーモスタットは組み込まないで下さい

サーモスタットの持ち方



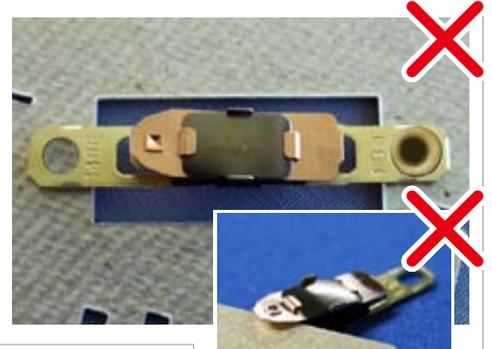
必ず指サックを装着して、端子か、ベースを持つようにして下さい。



接点、バイメタル、爪、可動接点板に触れる持ち方は決してしないで下さい。



ハトメ金具による取り付け作業について



STEP 1 最初に「孔 (丸形状側)」にハトメ金具を挿入し、加締め留めを行います。

STEP 2 次に「長円孔」に同様のハトメ取り付け作業を行います。

※注 **STEP 1** と **STEP 2** の作業の順番を逆に行いますと、ベースのフェノール樹脂に応力が加わり、破損する恐れがあります。

マイカ板への挟み込みも厳禁です。

一度でも上記✕印の経験をしたサーモスタットは組み込みまないで下さい。